

『歌と踊りの祭典』150周年記念 ～平和への祈りをこめて～

ラトビア音楽の夕べ

2023

5月1日(月)

19:15 開演(18:45 開場)

豊洲文化センターホール

東京都江東区豊洲 2-2-18 豊洲シビックセンター 5F TEL 03-3536-5061

東京メトロ有楽町線 「豊洲」駅7番出口より徒歩1分

新交通ゆりかもめ「豊洲」駅 改札フロア直結

入場料:2,000円 **全席自由**

今年150周年を迎える『歌と踊りの祭典』は5年毎に開催される大イベントで、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録されています。ラトビアの人々は民族としての文化と誇りを歌い継ぎ、1991年には武力によらず旧ソ連からの独立を回復しました。合唱団ガイスマは日本の合唱団でありながら2013年と2018年に公式に参加を認められ、今年も参加を目指しています。

出演 指揮:佐藤拓 ピアノ:坂本雅子
合唱:合唱団ガイスマ
ゲスト:ラトビア音楽ユニット ウズマニープ
主催:日本ラトビア音楽協会 合唱団ガイスマ
連絡先 e-mail: gaisma141@gmail.com(担当:石井)



チケットは電話、携帯、スマホで！
左記 QR コードからどうぞ。
お近くのセブンイレブンで受け取れます。
〈電話予約〉カンフェティ・チケットセンター
(平日 10:00~18:00) 電話:0120-240-540



ゲスト：ウズマニーブ／UZMANIBU

溝口明子（クアクレ） 秦進一（ヴァイオリン）

ラトビア共和国に伝わる伝統音楽を演奏する日本初のアンサンブル。2014年結成。ラトビア人の日々の暮らしの中で生まれ、伝わってきた素朴で心に沁みる民謡を奏でていきます。これまで、ラトビア政府観光局主催イベント、オリンピック関連コンサート、ラトビア日本友好100周年記念事業などに出演し、ラトビア人アーティストとも共演してきました。

指揮者：佐藤 拓



岩手県出身。早稲田大学第一文学部卒業。在学中はグリークラブ学生指揮者を務める。卒業後イタリアに渡り Maria G.Munari 女史のもとで声楽を学ぶ。

World Youth Choir（世界青少年合唱団）元日本代表。アンサンブル歌手、合唱指揮者として活動しながら、日本や世界の民謡・民俗歌唱の実践と研究にも取り組んでいる。近年はボイストレーナーとして、自身の考案した「十種発声」を用いた独自の発声指導を行っている。 公式ウェブサイト <https://contakus.com/>

Vocal ensemble 歌譜喜、The Cygnus Vocal Octet、Salicus Kammerchor、Japan Chamber Choir、vocalconsort initium 等のメンバー。東京稲門グリークラブ、日本ラトビア音楽協会合唱団ガイスマ、合唱団 Baltu 等の指揮者。常民一座ビッキンダース座長、特殊発声合唱団コエダイ r. 合唱団（Tenores de Tokyo）トレーナー。声楽を捻金正雄、大島博、森一夫、古楽を花井哲郎、特殊発声を徳久ウィリアムの各氏に師事。

ピアノ・ソプラノ：坂本雅子

国立音楽大学声楽学科卒業。唱歌、カンツォーネ、ドイツ歌曲、宗教曲、オペラ等、幅広いレパートリーを持ちクリスタルヴォイスには定評がある。近年は保育園、特養、障がい者施設等での奉仕コンサート活動にも力を注いでいる。2013年よりガイスマ練習ピアニストとして活動中。声楽を中村浩子、曾我栄子、小串昭子、児島百代、ピアノを内山恵子、小牧洋子、浅野佳子の各氏に師事。日本ラトビア音楽協会会員。

合唱：日本ラトビア音楽協会 合唱団ガイスマ

日本ラトビア音楽協会は、合唱大国ラトビアとの音楽を通じた友好親善を目指して活動しています。合唱団ガイスマは、その協会の実践部門として、2008年の「歌と踊りの祭典」視察旅行に参加したメンバーが中心となって活動を始めました。5年に一度開催されるラトビアの国家行事「歌と踊りの祭典 クロージングコンサート」に2013年と2018年に続けて参加し、ラトビア人がいない唯一の合唱団として注目を集めました。国内外のラトビア人団体から集められた16,000人の大合唱は、ユネスコの無形文化遺産にも登録された、たぐいまれな祭典です。民族にとって重要なこの祭典に参加を認められたことだけでも大変名誉なことと実感しています。今年の祭典にも参加を目指して練習中です。

